

東京社保協ニュース

東京社会保障推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10
東京労働会館6F

tel03-5395-3165 fax03-3946-6823

東京社保協

検索



訴えをする竹崎会長

消費税廃止各界連絡会は、8月25日JR大塚駅南口で宣伝行動を行いました。東京社保協は、常任幹事会終了後に竹崎会長をはじめ10人が参加。全体では東商連、東京土建、豊島民商など28人が参加し、約1時間の行動で署名68筆、チラシ1千枚を配布しました。竹崎会長は、社会保障と税の



安心して暮せる介護制度へ

介護事業計画アンケートから

住民の声と運動を届けよう！

「介護をよくする東京の会」(事務局：東京社保協)は、第5期介護保険事業計画に関するアンケート調査に取り組みました。23区中14区、26市中13市から回答がありました。「検討中」の回答が多かったのですが、回答された中からいくつかの重要な問題が浮かび上がってきています。

「第5期保険料」は、3区・3市が引き上げ。介護保険サービス削減の目的で地域支援事業として介護予防・生活支援の総合サービスが自治体の判断で実施できるようにりましたが、「実施し

「社会保障と税の一体改革」に反対

消費税廃止各界連絡会が宣伝行動

「一体改革」での国民総背番号制の論議や消費税増税に対して、国民が草の根から反対しよう」と訴えました。

ない」のは2区のみでした。第5期事業計画策定のためのニーズ調査は、1区の実施しない以外は実施済みでした。「第5次事業計画へ住民の意見を求めるか」については、1区を除いてすべての区が「求める」と回答しています。

すでに、各自治体では第5次事業計画策定へ、策定委員会が開催されています。公募された委員との懇談、傍聴、住民への説明会の開催など、アンケート結果からも住民の声を届けるチャンスです。安心して暮らせる介護制度を私たちの運動で実現しましょう！

後期医療制度廃止にむけて懇談

後期高齢者医療制度の廃止を求める東京連絡会は、8月26日夜に「後期高齢者医療制度廃止への意見交流」と日本共産党広域連合議会

議員との懇談会」を開催しました。広域連合議会議員の森戸よう子市議(小金井市)、細野龍子市議(町田市)が参加しました。

懇談では、「8月に交付された短期保険証が666件で昨年比35%に減少しているが、差押さえなどの対応が増加を懸念する」「広域連合議会への請願・陳情締切が公示されてから2日間しかないなど非民主的運営の改善を求める」「4月から中野区・町田市に加えて世田谷区で健診が有料化された」「来年保険料の引き上げがされる可能性が高い(均等割が37800円から50000円近くに)」など、これ以上高齢者の負担を増やさないための運動を広げ、高齢者医療制度の廃止と負担増の仕組みを「新たな制度」に引き継がせない取り組みを強めよう」と確認しあいました。

国保加入者アンケート

集約数1000件超す

2~3面

46%で国保料増 低所得・多人数世帯に負担重く

受診抑制も増大

収入減少世帯の3人に1人が

算定方式の変更で、収入や家族構成が変わっていないのに今年度の国保料が大幅値上げとなる23区の国民健康保険の問題で、東京社保協は、7月から「国保加入者アンケート」活動に取り組み、8月26日現在1035件を集約しました。

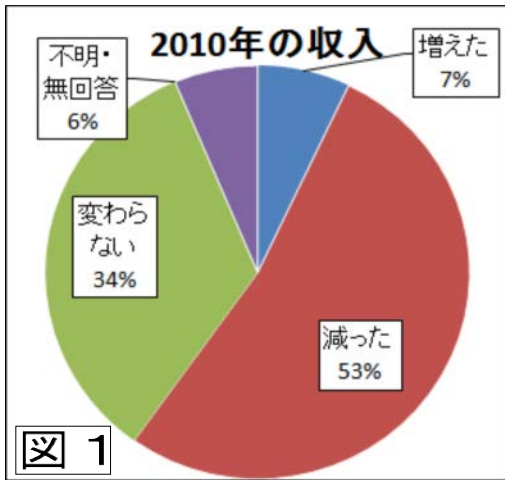


図1

23区は今年度から保険料の算定方式を変更し、医療費の増大なども理由に保険料を見直し、とくに多人数や障害者、一人親など各種控除を受けていた世帯が大幅負担増になりました。

東京社保協が26日までにとめた中間集計結果（1035人分）をみると、昨年の収入が「減った」547人（53%）、「変わらない」349人（34%）、「増えた」54人（5%）、「不明・無回答」67人（6%）で合計896人（86%）ですが、「国保料が上がった」と答えた人は回答者の半数近い480人（46%、図2）にも上ります。

「収入は変わらなかった」349人のうち144人（41%）が国保料が引き上がっています。また、国保加入者数で見ると1人世帯では42%ですが、4人以上では

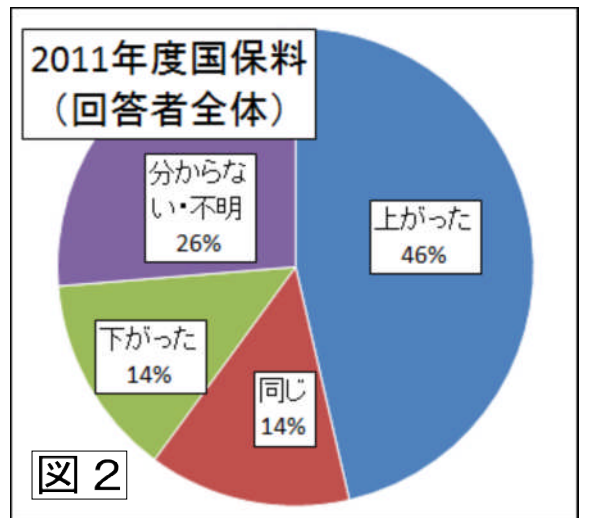


図2

今回の国保料は「高いと思うか」との質問には、63%の人が「思う」と答えています。収入が減った人に絞り込むと71%が高くと回答しています。（図3・図4）

「お金の心配で受診を抑制したことがあるか」の問い（複数回答）には、「通院の回数を減らした」と答えた人が159人でもっとも多く、「病气やけがをしたが受診しなかった」107人、「薬を長持ちさせるため、決められた回数や量を減らした」70人、「検査や治療を断ったり、減らしてもらった」56人の順でした。アンケートに回答した103

国保料は高いと思いますか？

回答者全体より「収入の減った」人の方が8ポイント高い

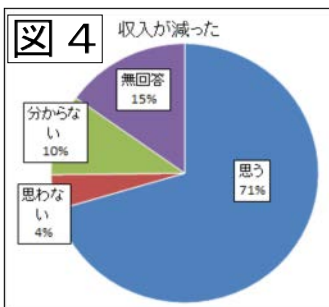


図4

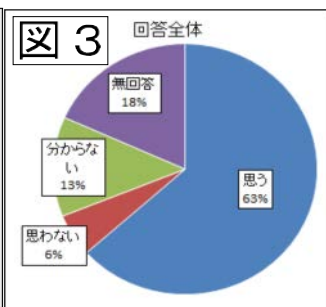


図3

無料 国保なんでも電話相談会

2011年9月18日 (日) 午前10時~午後5時

0120-296-290

弁護士、ケースワーカーなど専門家も相談も受けま

国保料や窓口負担の免除、減額など負担軽減ができる場合があります

国保加入者アンケート 中間集計報告

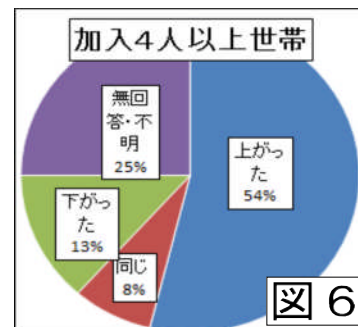
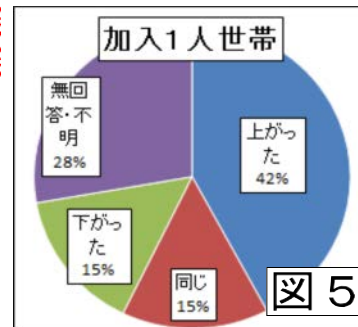
1035人分集約 引き続き回収をおすすめ

収入減少世帯

お金心配で以下のような受診手控えがありましたか

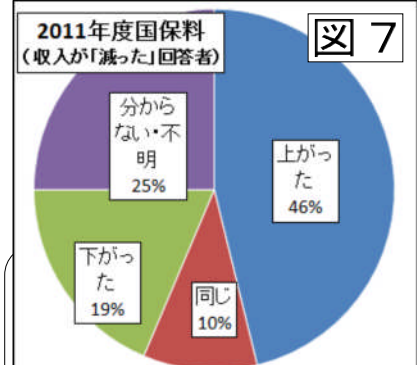
	病気やけがをしたが受診しなかった	通院の回数を減らした	検査や治療を断ったり減らしてもらった	薬を長持ちさせるため決められた回数や量を減らした	病気やけがの治療を中断した	退院した
人数	107	159	56	70	26	10
比率	10.3%	15.4%	5.4%	6.8%	2.5%	1.0%

1,035 人中1項目でも回答した人の実人数	296 人	28.6%
(複数項目に回答した人の実人数)	88 人	8.5%
収入が「減った」「変わらない」の回答者	896 人中	
1項目でも回答した人の実人数	256 人	28.5%
(複数項目に回答した人の実人数)	78 人	8.7%
収入が「減った」の回答者	547 人中	
1項目でも回答した人の実人数	188 人	34.3%
(複数項目に回答した人の実人数)	63 人	11.5%



5人のうちこの質問にひとつでも答えた人は296人(28.6%)でした。その中でも「収入が減った人(547人)」のうち188人(34.3%)、3人に1人

以上がなんらかの受診抑制をしている実態が明らかになり、「医療費が心配で受診を控えた」という声も多数寄せられ、受診抑制に拍車をかけている深刻な実態が浮き彫りになっていきます。所持している保険について尋ねたところ、保険料の滞納を理由に、正規のものよりも短期間の短期保険証を持っている人は23%、収入で変わらなかつた人は14%、短期保険証になり証



が短期保険証になり証

の滞納を理由に、正規のものよりも短期間の短期保険証を持っている人は23%

ます。窓口でいったん金「ていない」ひとが12人も額支払わなければならぬ「資格証明書」を持っています。

アンケート自由記入欄より(抜粋)

- ・大田区60代: 保険料が大幅に変わるのに、その旨の通知が充分なされていないように思いました。せいぜい6〜7万と聞いていたのに、20万3千円(昨年5万6500円)となり驚いています。
- ・大田区60代: 2年くらい遅れて現在月々5千円支払ってます。6か月有効の保険証を現在利用してますが、気になって病院に行くにも気を使っています。
- ・20代: 失業後、国保料が払えず短期保険証だったが、期間が切れて8カ月ぐらい病院に行けなかった。その後保険証をもらいに行ったら8か月分の保険料も払えと言われた。保険証がなく医療にかかれなかったのにその間の保険料も払えというのはおかしい。怒り以外の感情が出てこない。
- ・江戸川区70代: 22年度4万4020円が12万5610円で前年の2.9倍
- ・世田谷区: 先日胃の内視鏡検査を受けた時は、いくらかかるかわからないので、次の年金がでるまで延期したりしました。ずっと昔のようにならなくていいです。医療費のことを考えるだけで病気が重くなる人もいます。
- ・世田谷: 期分の支払い額が2万2千円(22年分)から4万7千円(23年分)にという通知が来て驚いています。
- ・板橋区40代: 母子家庭なのであまりの上がり方でおどろきました。3倍強とは少しひどすぎる。

突然撤退

存続求める集会 署名も広がる

日大練馬光が丘病院

7月中旬に突然、日大練馬光が丘病院が2012年3月末で撤退するという知らせが入り、住民、医療機関に大変な混乱と不安が広がりました。

7月25日の区議会医療高齢者特別員会で、区から「09年に日大光が丘病院から経営状況が厳しく、区への支援要請があった。区は支援すると、10年に通知したが、日大側から「13年3月末で撤退を理事会で決定した」と。

区は了承できないとしたが、協議は平行線となり昨年12月に「13年3月末までに引継（他の病院



練馬区は病床数の不足地域として、特に「救急周産期、小児、災害支援」を重点とし、病院、区、住民の運営で「病院運営協議会」を設置し20年間地域と信頼関係を構築し地域医療を担っていきま

医師会と日大小児科医師有志の「日大の存続を求める署名」が呼びかけられ、練馬社保協事務局会議と東京保健生協練馬協議会では積極的に協力する事を決めました。大泉生協病院でも組合員さんとの協力で短期間に1千筆以上集めました。

8月16日「存続を求める市民の集会」

には200人以上が参加、日大駿河台病院の齋藤小児科医局長は「日大理事事は住民やスタッフの意見をないがしろにしている」と訴えました。自治会長や小児科の患者家族から「かかりつけ医が変わるのは不安。単に医療機関が継続されればいい

ことではない」と、20年間にわたって地域と光が丘病院がつくりあげてきた関係を断ち切ることに不安の声が上がりました。

区は既に次期医療機関の公募を締切り、9月には選定に入っていきます。しかし、住民、区内の医療機関の多くは日大の存続を希望しています。8月末の区議会の特別委員会はこれまでの住民の声が届けられません。短期間の運動となりますが、地域医療を守り、区民が安心してかかれる医療機関の存続に引き続き取り組んでいきます。（大泉生協病院・斉藤）

健診有料化、国保問題で共同行動 世田谷

東京社保協の国保問題交流集會に参加、国保料の大幅な引き上げが計画されていることを知った私たちは、年金者組合・健康友の会・生活と健康を守る会の3者で相談し、「区民健康診査・がん検診の有料化」を許さない要求と合わせて、「国保料の大幅引き上げに反対」署名に取り組み、813筆を集めて世田谷区に提出しました。あわせて、区議選への立候補者全員に公開質問状を出すなどの取り組みをすすめてきました。健診と国保料問題で保坂区長とも懇談を持ちました。

8月3日、東京社保協前沢事務局長を招いて国保学習会を開催、「こんな高い保険料は払えないよ」の声を地域の隅々からあげて

- 【9月の主な日程】**
- 3日(土) 13:00~ 国保相談員研修・交流会
13:00~ 改定介護保険学習・講師養成講座
 - 8~10日 中央社保学校(於 新潟)
 - 12~13日 日本高齢者大会(於 青森)
 - 15日(木) 14:00~ 国保アンケート記者会見(都庁記者クラブ)
18:30~ 子どもと貧困学習会(労働会館5階)
 - 18日(日) 10:00~17:00 国保何でも電話相談
 - 19日(祝) 原発にさよなら集会 於: 明治公園
 - 21日(水) 第3回定例都議会開会日行動
10:00~ 都知事要請 12:15~ 開会日行動
 - 28日(水) 13:00~16:30 地域医療を守る関東甲ブロック交流会
- 第10回常任幹事会 日時 9月22日(木) 13:30~16:00
場所 東京労働会館 地下会議室

いく事の大切さを学び、運動に取り組んでいます。(世田谷社保協・岩永)